

# (おススメ) 吉山路周辺散策

奥州市水沢の吉小路は、高野長英・後藤新平・斎藤實、時代が下って椎名悦三郎等を輩出しました。今、周辺の記念館等も企画展真っ盛り。日本や奥州の歴史・文化に接する機会として、吉小路周辺の散策はいかがでしょう。



【斎藤實記念館】



【椎名悦三郎誕生の地】



【後藤新平旧宅】



【後藤新平記念館】  
(新平旧宅から300m)



【高野長英誕生の地】

【水沢伊達家】1万6千石  
家臣が800人もいたため、武士は極めて貧しく、内職が必須だった。中には寺子屋を開き(後藤家・斎藤家)糊口を凌ぐ家もあった。



【武家住宅資料館】



【高野長英記念館】  
(新平旧宅から1.2km:水沢公園内)

吉小路

【展示品をよく見てみると、後藤新平の縁があちらにもこちらにも(ゆったり散策で、そんな発見も一興です)。】



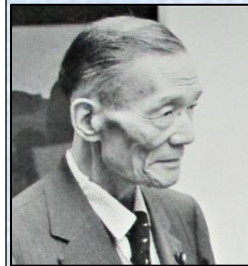
【高野長英記念館】《秋の企画展》 9/13~11/13

「偉人の書展」～長英へ向けた言葉(㊟後藤新平書「識達中外 明通千古」(昭和2年)。識は中外に達し、明は千古に通ず)(見識の深さは国内外に達し、ものを見分ける力は歴史にも通じている。)

【後藤新平記念館】《第2回企画展》 7/15~10/16

「健児を愛し愛された涙の総長」～ボーイスカウト初代総長就任100年～(併催)シリーズ後藤新平人脈考⑧「三島通陽」(㊟期間終了後、借用資料は返却。その他当館所蔵資料は、11月半ば迄展示継続予定)

【斎藤 實記念館】《ミニ企画展》 9/1~10/30 「斎藤實夫妻の記念章」(㊟「帝都復興記念章」(昭和5年8月制定)。本来なら陣頭指揮を執った後藤新平も授与されたであろうが、残念ながら帝都復興記念祭の前年に逝去。新平未授与の幻の記念章。)



【武家住宅資料館】《秋の企画展》 9/27~11/13 「時代を彩る才媛たち」

「留守伊豫子・中目たき・村上望山・高橋耕園」(㊟村上望山の夫:先(すすむ)は、後藤新平が民政長官として活躍した台湾にも赴任。台湾の新聞に「台南長官婦人望山画伯・・・」として紹介された、とのこと。)



【10/6 ボーイスカウト 塩釜第1団来館】



【武家住宅史料館展示】



【斎藤記念館展示】



【高野記念館展示】